

第2回 橋本市都市計画審議会専門委員会及び
橋本市都市計画マスタープラン等策定検討委員会 議事録(抜粋)

会議名称	第2回 橋本市都市計画審議会専門委員会及び橋本市都市計画マスタープラン等策定検討委員会	
日時	令和3年3月19日(木) 午後2時～	
場所	橋本市教育文化会館 3階 第1研修室	
出席者	委員 (敬称略)	<p>○橋本市都市計画審議会専門委員 濱田 學昭 平家 利也 乾 幸八 杉村 春美</p> <p>○橋本市都市計画マスタープラン策定検討委員会 濱田 學昭 葛原 芳秀 西山 恵三 堀川 憲一 池田 和夫 大原 康平 向井 景子 房本 恵 栄迫 仁志 武田 昌也</p> <p style="text-align: right;">【出席委員 14名】</p>
公開状況	公開	
傍聴者	なし	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 第1号議案 「都市計画タウンミーティング (マスタープラン策定ミーティング)」の開催について 3. 協議事項 「市街地実態踏査結果」の報告 4. その他 5. 閉 会 	
資料	市街地実態踏査結果	

○委員長挨拶

本来であればもう少し早い時期に開催を予定しておりましたが、コロナ禍の影響でこの時期にずれ込んでしまいました。

本日は都市計画マスタープランの策定に向けてどういう方法で進めていくかなどを議論していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○第1号議案について

前回の委員会でも話に上がりましたが、マスタープランの策定にあたり、橋本市の現状や現在の市内外の社会情勢などを踏まえ、今後どのように都市づくりを進めていくべきかといった認識を皆さんを共有し、都市課題の解決に興味を持っていただく。その上で皆さんの意見を次期マスタープランに反映していくことを目的としたタウンミーティングの開催について議論をいただき、承認をいただきました。

《意見等》

・ミーティングにおいて議論のテーマは絞るのか。グループワークのような感じでの実施か。

→あえて絞らない。現状をまず知ってもらい、市民の皆さんには思うところをまず述べていただきたい。議論を深めるのであればグループを分けるなどして実施する方がいいのであろうが、今回は情報の提供と各自の意見の収集のみに集中させたい。

・参加者のターゲット層はあるのか

→土日の開催とし広く参加を呼び掛けたい。また市主催ではあるが、可能であれば参画委員方の所属団体等にも後援という形でサポートなどをお願いしたい。

・最近では学校の授業の一環として地域を見つめる、今後のまちづくりについて考えるといったことに取り組んでいるところも多いので、例えば動画などで録画しておいて授業で見ってもらうなどの方法も効果があるのではないか。

・市外の方にも参加を呼び掛けるのか。

→参加いただけるのであれば積極的に市外の方にもご参加いただきたい。

・行政の外の意見を聴くのはもちろんだが、出た意見の内部での共有などもしっかりと行ってもらえるようにしてほしい。

・現在橋本市には地域共同体、まち全体で橋本市をこれから作っていくという意識の土壌が弱い気がするので、まず今回のタウンミーティングではそこをしっかりと作る。今回やったら終わりではなく、今後も定期的にこのような場を設けていきたい。

○協議事項について

昨年11月頃に職員及び一部の策定検討委員の皆さんにて実施した市内全域の市街地実態踏査の結果について、配布資料とスライドをもとに報告を行い、橋本市の現状等について委

員の皆さんにご覧いただきました。

《意見等》

・橋本市の未来を考えるうえで、優先順位が高いのは災害対策、そして教育だと思う。特に教育は学校の再編が行われていく中で学校数が減少していく。また、ハード面での外的要因として、大阪南部高速道やリニアの通過駅の設置という話が上がっており、これが実現する場合橋本市にとっても大きな要因となりうると思う。和歌山の観光集積地である高野山とのラインにとっても重要になると思う。

・都市計画ということで、新しい道路を作っていく、整備していくなどももちろんだが、今ある景観をしっかり守るといったこともやはり大事だと感じます。

・説明にもあった高野口の狭小道路がやはり防災上問題があるので、どうしていくのか考えていかなければならない。

・橋本市は高野街道や大和街道、葛城の修験道など古い歴史ある道がたくさんある。また、せせらぎ公園周辺も整備がされており、有効活用していければいいが周辺の駐車場や回遊ルートなども問題がある。

・昔高野口のあたりでいろいろとスポーツ関係の施設の整備などの話が上がったが、いろいろあってとん挫したものがいくつかある。議論に慎重になるのもいいが、こういった話には旬というものがあるので、市にもある程度即断即決で動ける体制を作っていってほしい。紀望の里周辺はポテンシャルもあるしまた少し動きがあるようなので、次はうまく流れに乗って話を進めて欲しい。

・地域防災計画と連動したまちづくりということで、市役所も浸水エリアに入っている。市庁舎の建て替えなども今後考えていくという話を市長がしていたが、大規模災害などに備えてきちんと中心として稼働できるセンターなども考えていかないといけないと思う。

・市内を改めて回ってみると、川と緑に囲まれていい田舎という感じがする。道が狭いということは確かにあるけども、その中に集落がきれいに収まっているともいえると思う。

ただ、広告物や高い建物などが、良くも悪くも目立ってしまうと感じるので、その辺のバランスなども考える必要があるのかなと思う。

・川沿いなどはサイクリングロードの整備も進み、観光と絡めていくこともできるのでは。

・今新しい道路が出来てきて、市内の交通の背骨が新しいところに置き換わりつつある。それに合わせて本来まちを作り替えていかなければならないが、それがうまく動いていない。そのため、交通の便の向上が市外の商業地への流れてを作ってしまう。橋本駅前の商店街などはまさしくその流れ。

○その他について

都市計画に関する新たな情報発信ツールとして、まちづくり課の公式ツイッターアカウントを作成したことを報告しました。